



私たちは、豊かな森林資源を次世代に引き継ぐため、適切に管理された森林資源の利用を進めます。

■ 森林資源の保全を考えた商品開発

PB商品の中には、森林資源を利用した商品もあります。多くのお客様よりご使用いただいている「キッチンタオル」「ティッシュペーパー」はFSC認証のパルプを用いています。

FSC認証は、森林の生物多様性を守り、地域社会や先住民、労働者の権利を守りながら適切に生産された製品を消費者に届けるためのマークです。

また「2倍巻トイレットペーパー」は、飲料の紙パックを製造したときに不要となった端材を活用してつくられており、森林資源の保全だけでなく、廃棄物の有効活用にも役立っています。



キッチンタオル



ティッシュペーパー



2倍巻トイレットペーパー

■ 間伐材を使用した什器

人工林は適切に管理することで森として成長し、CO₂を吸収します。しかしながら管理の際に発生した間伐材が活用されないと、せっかく吸収されたCO₂がまた大気中に放出されてしまいます。

原信の一部店舗の什器には杉の間伐材が使われています。森林資源の有効活用につながるだけでなく、CO₂の削減にも貢献しています。



間伐材を利用した商品陳列台

■ より少ない資源で生産された商品の販売

今後、世界の国々が豊かになるにつれ、肉類の摂取が増えることが予測されています。肉類を生産するためには森林を開拓し、多くの水資源や穀物を使わなければならない、畜産による環境負荷が今後ますます増えることが懸念されています。そのような状況から、プラントベースフードと呼ばれる植物性の食材からできた食品に注目が集まっています。

アクシアル リテイリングにおいても、プラントベースフードが新たな食のトレンドになりつつあることを踏まえ、大豆ミートやそれらを使用した加工品の取り扱いを拡大しています。



ネクストミーツ様の大豆ミート商品
※一部店舗での取り扱いになります。



お弁当コーナーで販売
「美ピンバ丼」



ベーカリーコーナーで販売
「ぶる玉ソイミートバーガー」
※一部店舗での取り扱いになります。



大豆ミートの展開